

へいわだより

2018年
6月号

ぱらぱら おちる

ぱらぱらおちる

雨よ雨よ

ぱらぱらぱらと なぜおちる

かわいた土を やわらかにして

きれいな花を 咲かすため



(こどもさんびか)

お散歩に出かけますと鮮やかな紫陽花や路傍に咲く草花の様子に子どもたちから声が上がります。

小さな命の成長する様子に子どもたちは喜び、周りのものへ目を向け大切にしている心が育まれます。

地域の方は子どもの様子を見て、「かわいいわね」「癒されますね」と声をかけてくださいます。

いつも私たちは喜びのお裾分けをしているようです。

平和保育園では、毎年この時期に「花の日」を過ごします。

ご家庭から持ち寄っていただいたお花をきれいに飾り、小さな花のように大切にされる自分たちに目を向けつつ、周りの人たちへ感謝のできる機会を持ちたいと思います。保育園のプランター栽培の野菜や植物もすくすくと育つ時期で、毎日様子を見ては子どもたちと分かち合っています。お迎えの際にお時間がありましたら、お子さんと一緒にプランターを覗いていただけたらと願います。雨の日が多くなり、レインコートや自転車にカバーをして、登園してこられる親御さんのご苦労を思います。恵みの雨を喜んで、気を付けて登園していただけたらと思います。

五月二十五日の引き渡し訓練にご協力、ご参加いただきありがとうございます。実際には、あらゆるケースを想定して、訓練を行っていく必要があります。

ご家庭でも、勤務中に災害が発生した場合のお迎えの仕方について、連絡も難しい場合のことも考えて、話し合っておかれることをお勧めいたします。

六月の聖句

「成長させてくださったのは神です」

コリントの信徒への手紙「三章十六節

私たちは自然に育つわけではなく、色々な人の関りによつて生まれています。何よりも目に見えないところで、神様が守ってくださることを信じています。

保育園でも、植物など小さい命と向き合うときに、育ててくださる神さまにお祈りをします。

☆花の日礼拝 六月十四日(水)

六月十二日(火)朝から十三日(水)朝までの間で、ご家庭よりお花を一本お持ちください。

礼拝の後、日頃お世話になっている施設やご近所に花束を持っていきます。

五才児は「あずみ苑」へ

ほかのクラスはご近所を訪問します

(花の日の由来)

一九五六年、アメリカのレオナルド牧師が子どもたちの礼拝をささげたことが起源です。世界中で六月第二日曜日に教会に花を飾り、「花の日こどもの日」として特別礼拝をささげます。

☆防災センター訪問 六月二十一日 5才児

ばら組さんは西部防災センターに行き、防災のことを学びます。

☆お家の方へ

・ベビーカーでの登降園について

玄関スペースにベビーカーを置いて行かれる方は、たんでコンパクトにしてくださいますと助かります。

0才児、1才児の方を優先としています。

2才児になりましたら、歩いて登園されるようお願いいたします。

・登園について

暑い日和にサンダルを履いて登園されるお子さんがいます。園外での活動もありますので、きちんと靴を履いて登園されるようお願いいたします。

6月		
1	金	歯科検診
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	健康体育
8	金	
9	土	個人面談
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	花の日
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	避難訓練
20	水	
21	木	防災センター(5才児)
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	誕生会
30	土	

